

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

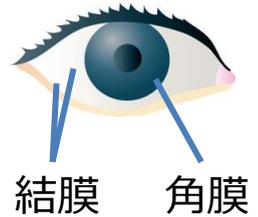
流行性角結膜炎(はやり目)が警報レベルです！

熊本市における第34週(8月17日～8月23日)の定点医療機関あたりの流行性角結膜炎患者報告数は、12.60人(定点数5ヶ所、患者報告数63人)で、先週(定点あたり6.40人)の約2倍の報告がありました。(警報開始基準値8.00、警報終息基準値4.00)。一度かかってよくなっても、別の型のウイルスに感染してまた症状が出る場合があるので、油断せず感染予防をしっかり行いましょう。

【流行性角結膜炎(はやり目)の特徴】

アデノウイルスによる疾患で、潜伏期8～14日の後、急に発症します。症状は、まぶたが腫れる、涙が出る、目やにが多くなる、耳前リンパ節が腫れる、などがあります。角膜に炎症が及ぶと、角膜が濁ることがあります。季節としては、夏に多く、幅広い年齢層に見られます。

治療は、対症療法として、抗炎症剤の点眼などを行います。



【感染予防のポイント】

アデノウイルスはとても感染力が強く、ウイルスに汚染されたティッシュペーパー、タオルなどに触れるなどして感染するので、流水と石鹸で手を洗いましょう。家族に患者がいる場合は、特に、次の点に注意をしましょう。

- ・ 家族内では、目やにや涙で汚れそうなタオル、枕などの共用は避けましょう。
- ・ 眼をさわったら、すぐに流水と石鹸で十分に手を洗いましょう。
- ・ 入浴は家族内で最後にするか、入浴後の湯を交換しましょう。入浴後の残り湯は洗濯などに使わないようにしましょう。

期 間		平成27年 第33週		平成27年 第34週	
		8/10～8/16		8/17～8/23	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	→	1	0.04	0	0.00
RSウイルス感染症	→	0	0.00	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)	→	3	0.19	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	34	2.13	23	1.44
感染性胃腸炎	→ 流行中	63	3.94	55	3.44
水痘(みずぼうそう)	→	2	0.13	2	0.13
手足口病	→ 流行中	76	4.75	59	3.69
伝染性紅斑(りんご病)	→	4	0.25	4	0.25
突発性発しん	→	4	0.25	9	0.56
百日咳	→	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	→	20	1.25	16	1.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	2	0.13	5	0.31
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	↑ 警報レベル	32	6.40	63	12.60
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	1	0.20	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	→	8	1.60	3	0.60
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00